

## 中期目標（案）に対する委員意見

- 1 中期目標の期間について  
4年が適当な期間。
- 2 救急医療について  
市民意識調査においては、24時間の救急医療が最も高い結果となっている。救急医療については不採算部門でもあるが、市としてはどのような体制を考えるのか。
- 3 吹田市らしさについて  
吹田市らしさ及び吹田市民病院らしさは、中期目標に示すのかどうか。示すとするとどこに示されているのか。
- 4 市民病院の基本理念について  
市民病院の基本理念である「市民とともに心ある医療を」については、前文にも掲げた方がよい。
- 5 職員の意識改革について  
病院の業績が改善してきている中で、「従来の公務員体質からの脱却」と自虐的に中期目標に書かなくてもよいのではないか。がんばった職員に対してメリットがある、意識改革を図るといった書き方でもよい。
- 6 患者の権利について  
インフォームド・コンセントやセカンド・オピニオン等患者の権利を保障する文言を入れた方がよい。
- 7 病床利用率の向上と人件費比率の適正化について  
病床利用率については、中期計画において数値目標を示すこと。人件費比率については、必要数の医師を確保することと収益を上げることのバランスをとり、適正な人件費比率とすること。